

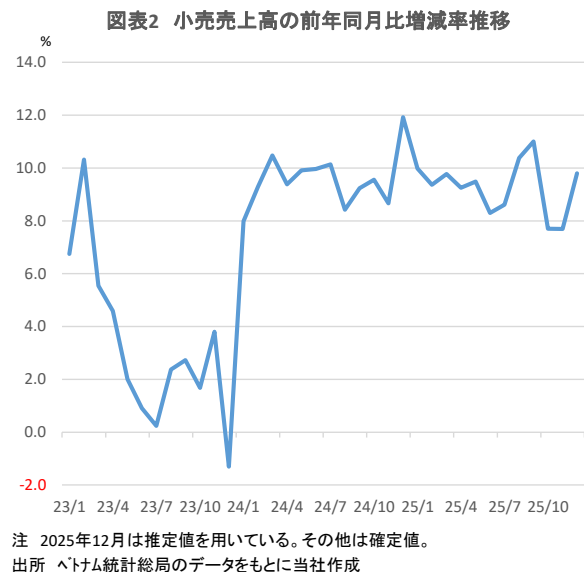
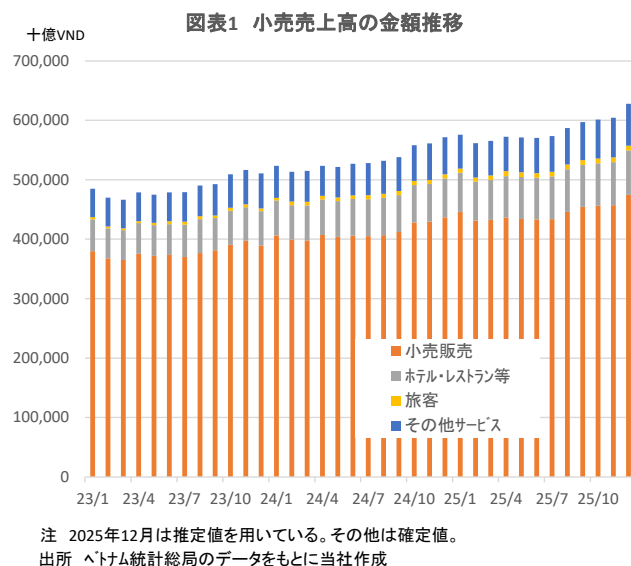
2025年10－12月期の小売売上高は8.4%増



《2025 年 10－12 月期の小売売上高は前年同期比 8.4%増》

ベトナムの 2025 年 10－12 月期の小売売上高（推定値）は前年同期比 8.4%増の 1,833 兆 VND（ベトナムドン）だった。11 四半期連続で前四半期を上回り、9 四半期連続で四半期ベースの過去最高水準を更新している。小売売上高の中核である小売販売は同 7.2%増の 1,387 兆 VND となった。生産年齢人口の増加に加え、輸出の好調やインフラ投資拡大、住宅開発の回復などを背景に製造業を中心とした企業業績の好調によって雇用や所得環境の改善が進み、消費マインドの改善による個人消費支出の増加が小売販売の拡大傾向を支えていると考えられる。一方、ホテル・レストラン等の売上高は同 14.0%増の 218 兆 VND となり、小売売上高の拡大を牽引した。引き続きベトナムを訪れる外国人旅客者数の増加に支えられているとみられ、7－9 月期の同 14.3%増と同等の拡大ペースを維持した。また、旅客も同 21.0%増の 24 兆 VND と大きく伸び、全体を牽引した。伸び率は 7－9 月期の同 17.4%増から拡大しており、こちらもベトナムを訪れる外国人旅客者数の増加が牽引役となっているとみられる。その他サービスは同 10.0%増の 202 兆 VND だった。

ベトナムの小売売上高の好調は、輸出拡大による生産や投資活動の好調、それに伴う企業業績の好調、一般消費者の雇用や所得環境の改善が最大の要因だが、このほかにも消費者物価指数の安定(2025 年の消費者物価指数の上昇率は 3.3%)や政策金利が低水準で維持されていること（2025 年の年初から年末まで 3.0%不変）などもサポート要因になっているとみられる。一方、高い経済成長率と消費者物価指数を下回る金利水準が続いていることは、近い将来、インフレ発生リスクも考慮する必要があるだろう。しかし、2025 年のベトナムの消費活動の好調に対して物価の上昇は限定的であった。ベトナム経済には依然として多くの非効率が残っていたため、生産性の改善がインフレ圧力を吸収している可能性も考えられる。2025 年の結果を見る限り、インフレを懸念するよりは、1970 年代から 80 年代にかけての日本と同様、インフレ圧力を生産性向上でカバーし、持続的な安定成長が続く可能性が高そうである。



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260108

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。